

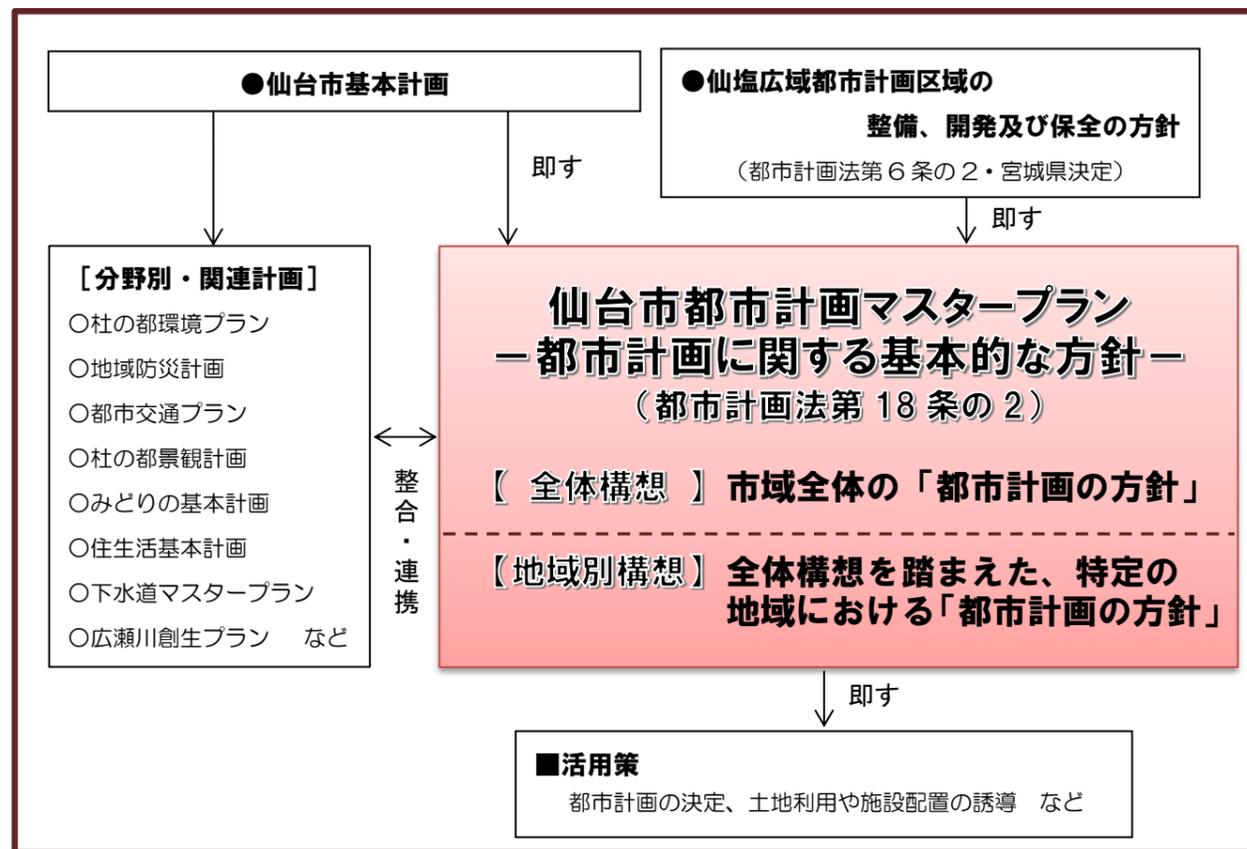
■次期地域別構想（都心地区・泉中央地区・長町地区）の基本事項及び骨子案についてまとめたもの

## 1. 計画の目的と必要性

- これまで本市では、都心や広域拠点（泉中央地区・長町地区）への都市機能集約と、地域特性を踏まえた地区間の分担と連携が重要であったことから、この3地区において地域特性を踏まえたきめ細やかなまちづくり方針を示す地域別構想を策定（平成26年3月）し、都市づくりの取り組みを進めてきた。
- この3地区については、今後も引き続き、きめ細やかな土地利用方針や円滑な都市交通の確保、豊かな緑地空間の確保、魅力ある街並み形成の方針などを示すため、地域別構想を策定し、都心や広域拠点それぞれの地区にふさわしい都市機能の集積を一層推進しながら、都市の活力と魅力の向上に取り組んでいく必要がある。➡ **策定に向けた検討スケジュールは別紙1参照**
- 令和3年3月に策定した仙台市都市計画マスタープラン（以下、「全体構想」）で、都心地区、泉中央地区、長町地区の3地区で地域別構想の策定を位置付けている。

## 2. 計画の位置付け

- 地域別構想は、都市計画法第18条の2に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として策定。
- 本市の都市計画に関する基本的な方針の一部とし、全体構想と合わせて、本市が定める都市計画の指針となる。

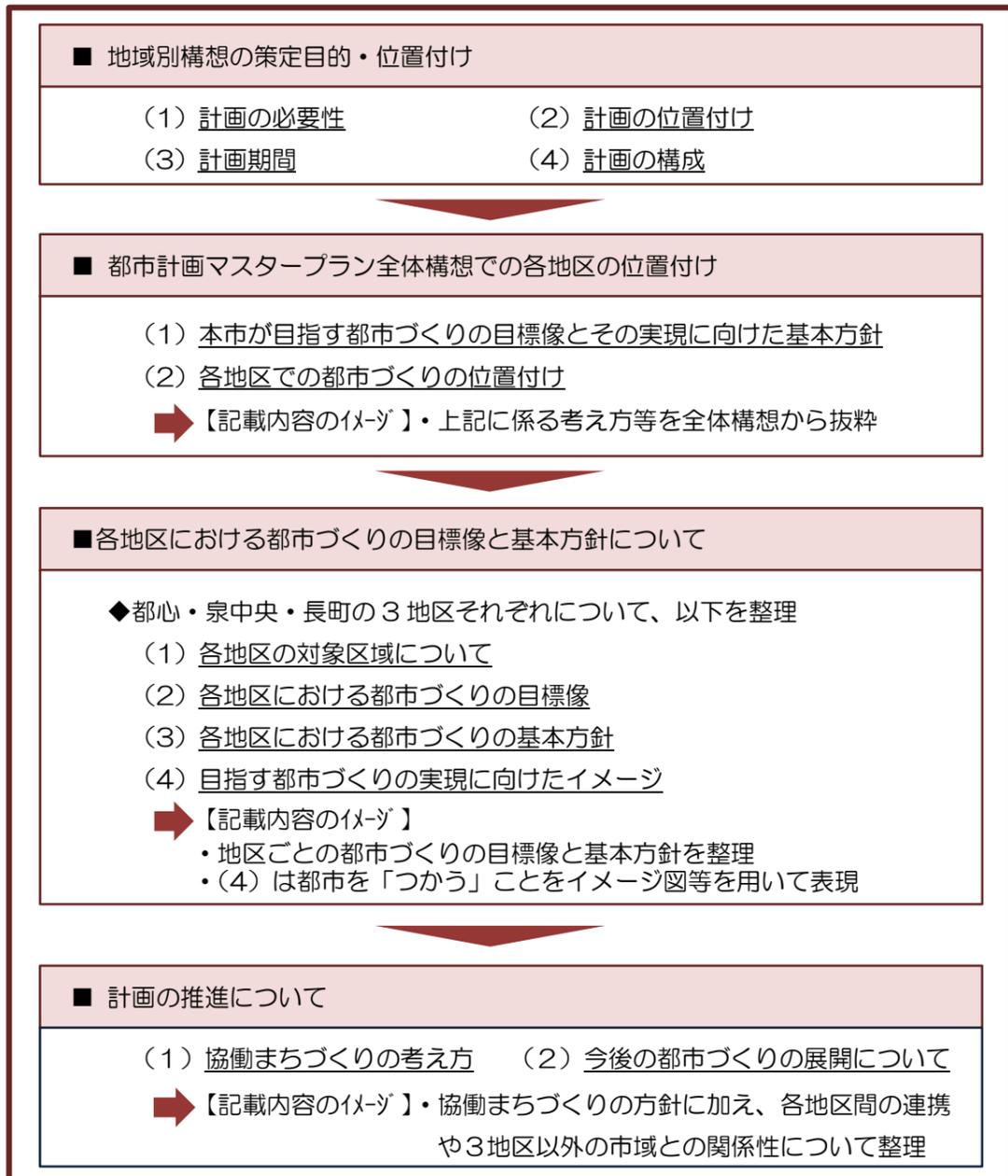


## 3. 計画期間

- 全体構想の計画期間に合わせて、2030（令和12）年度までとする。

## 4. 計画の構成（案）

- 計画の構成（案）は以下のとおり。



- ➡【検討の視点】
- ・地区内に限った視点だけではなく、全市的な視点から各地区のあり方や担うべき役割を検討
- ・各地区における今後の都市計画を戦略的に進めるための方針を検討

## 5. 地域別構想（都心地区） 骨子案

### 全体構想における「都心地区」の基本的な考え方

藩政時代からの緑豊かで潤いのある美しい「杜の都」の都市環境や、東日本大震災を教訓に培われた高い防災力を生かした「防災環境都市」としての都市個性を基盤として、その質を高めながら都心の機能強化を図り、東北・仙台の持続的な活力の増進につなげることを目指します。  
また、東北をグローバルに牽引する中枢都市として、国際競争力を有し、高次な都市機能の集積による賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心を目指し、都心部の再構築を進めるとともに、回遊性の向上を図り、ウォークラブルな都市空間の形成を推進します。

### 「都心地区」における今後の都市づくりのポイント

- 都心再構築プロジェクトや都市再生緊急整備地域等による都市再生の促進
- 市役所本庁舎建て替え等の都心における公共施設整備
- 次世代放射光施設の立地による次世代型産業や業務機能の集積
- 東北学院大学の五橋へのキャンパス移転
- 青葉通・定禅寺通・宮城野通における地元まちづくり団体によるまちづくりの推進
- 主要な通りとその周辺エリア（路地裏）とが連携した面的な賑わい創出
- 青葉山周辺や宮城野原周辺といった都心と密接に関係するエリアとの連携

### 都市づくりの目標像（案）

「“新たな杜の都”の中心舞台として魅力・活力のあふれる都心」

本市の経済活動や交流の中心舞台となる都心について、多様な都市機能の集積や交通環境の再構築を図ることで、躍動する都心としての魅力や活力の向上を目指します。

### 都市づくりの基本方針（案）

#### 1. 多様な活動を創出する都市機能の集積促進

▶東北の中枢を担う本市において、経済活動や交流の中心である都心にふさわしい高次な都市機能の集積に取り組みます。

#### 2. 賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築

▶居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、公共交通・自転車などを利用した快適な移動環境の整備、仙台駅周辺の交通結節機能の強化など、都心交通環境の再構築を推進します。

#### 3. 魅力あふれる都市空間の形成と活用

▶魅力あふれる居心地の良い都市空間を形成するため、エリアマネジメントによる取り組みや、建築等に伴って創出されるオープンスペースなどの質の向上に向けた取り組みを推進します。

#### 4. 杜の都の緑豊かな都市空間の形成と活用

▶街路樹の適正な維持管理や公園整備と利活用を進めるとともに、建築敷地内での質の高い緑化を推進することで、グリーンインフラとしての緑の多機能性を生かした都市空間の形成と活用を図ります。

#### 5. 都心にふさわしい安全・安心な都市空間の形成

▶建築物の新築や既存建築物の改修・更新を契機として耐震化を促進するとともに、浸水対策事業やバリアフリー化・無電柱化などを推進します。



#### 仙台駅周辺

◆広域的な交流を支える東北の玄関口であり、国際競争力を有する高次な都市機能が集積した仙台・東北の経済活力を生み出す中枢エリア

#### 青葉通・一番町周辺

◆商業・交流・賑わい軸を中心に、都心の質や機能を高め、地域に“賑わい”と“出会い”を生み出すエリア

#### 勾当台・定禅寺通周辺

◆多彩な市民活動と定禅寺通や市民広場、一番町などの豊かな公共空間が一体となって、日常的な賑わいと憩いを創出する仙台の象徴たるエリア

#### 宮城野通周辺

◆宮城野原運動公園や榴岡公園などへつながり、業務、商業、学校などと居住環境が調和した利便性の高い環境を生かしたエリア

## 6. 地域別構想（泉中央地区） 骨子案

### 全体構想における「泉中央地区」の基本的な考え方

泉中央地区を長町地区とともに「広域拠点」に位置付け、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。また、広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進を図ります。

特に泉中央地区では、賑わいや魅力を一層高めるための都市機能の強化とともに、駅を中心とした回遊性の向上など面的な都市空間の形成を推進します。また、泉区役所建て替えなどの土地利用が変わる機会を捉え、土地の有効利用が進まない地区などでニーズに対応した施設の立地を誘導します。

### 「泉中央地区」における今後の都市づくりのポイント

- ・ 泉区役所建て替えを契機とした泉中央駅周辺の都市機能の強化
- ・ 都市圏北部からの移動を支える交通結節点である泉中央駅周辺の交通環境の改善
- ・ イズミティ 21 や仙台スタジアム、ペDESTリアンデッキなどの拠点施設や公共空間を生かした賑わいや交流の創出
- ・ 泉中央駅周辺の都市機能の集積と良好な歩行空間を生かした回遊性の向上
- ・ 七北田公園や七北田川といった緑と潤いのある都市空間の活用

### 都市づくりの目標像（案）

#### 「多様なニーズに応える都市機能の強化が進む都市圏北部の広域拠点」

泉中央駅を中心として集積する都市機能や高い交通利便性などを生かして、都市圏北部の多様な活動を支える拠点を目指します。

### 都市づくりの基本方針（案）

#### 1. 都市圏北部の多様な活動を支える都市機能の強化

▶ 泉区役所建て替えなどを契機として、多様なニーズに応えるとともに、賑わいや魅力を一層高める都市機能の強化に取り組みます。

#### 2. 広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進

▶ 泉中央駅周辺に集積する多様な都市機能や交通利便性の高さなどを生かして、生活拠点としての魅力や個性ある都市型居住の推進に取り組みます。

#### 3. 都市圏北部の移動を支える交通環境の改善

▶ 市内及び周辺自治体からの路線バスが結節し、主要な乗り継ぎ駅として、都市圏北部の移動を支える泉中央駅周辺の交通環境の改善に取り組みます。

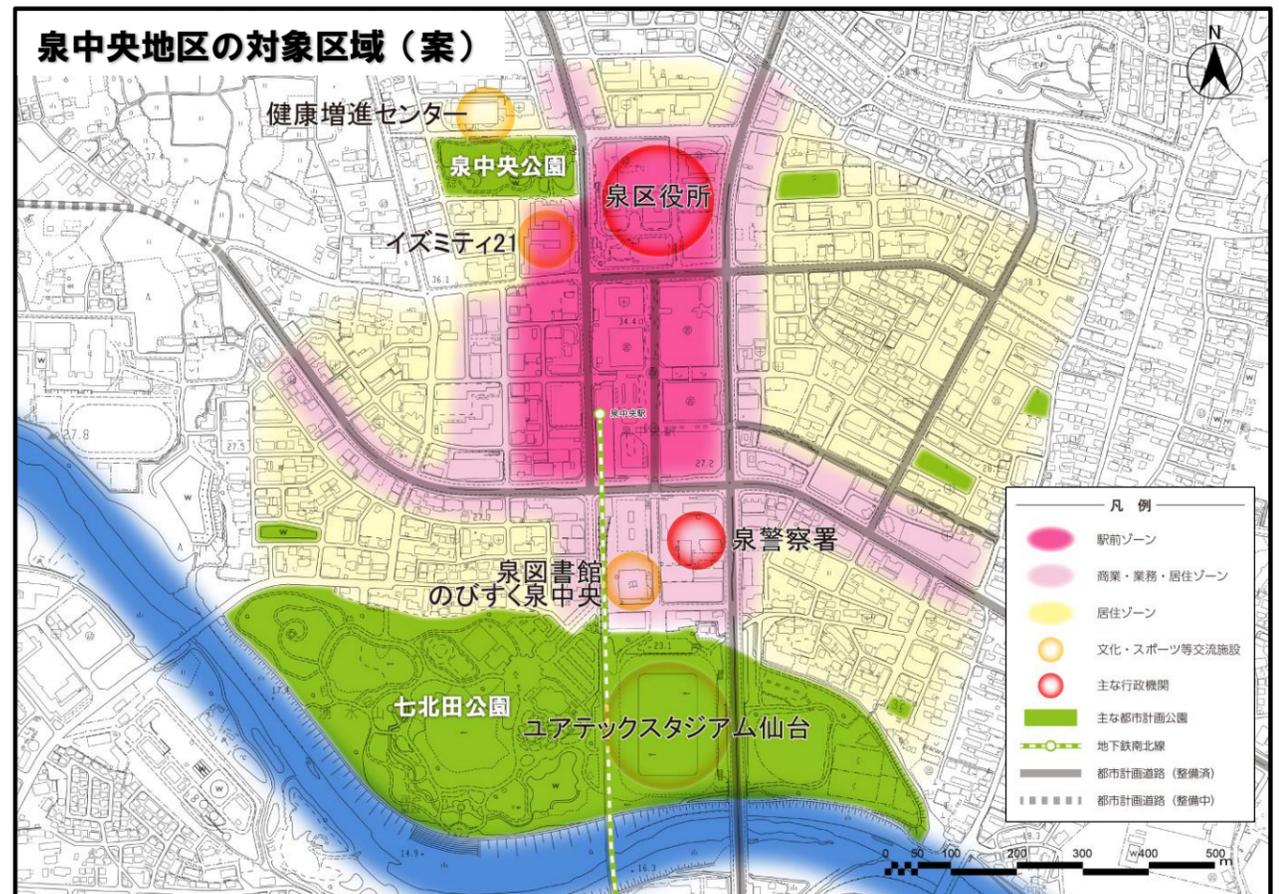
#### 4. 地下鉄駅周辺の賑わいと緑・潤いがあふれる都市空間の形成と活用

▶ 仙台スタジアムやペDESTリアンデッキ等での賑わい・交流の創出や、良好な歩行空間を生かした回遊性向上を図ります。また、七北田公園・七北田川といった緑と潤いある空間の活用に取り組みます。

#### 5. 都市圏北部の生活を守る安全・安心な都市空間の形成

▶ バリアフリー空間整備や帰宅困難者対策などハード・ソフトの両面から安全・安心な都市空間の形成に取り組みます。

### 泉中央地区の対象区域（案）



## 7. 地域別構想（長町地区） 骨子案

### 全体構想における「長町地区」の基本的な考え方

長町地区を泉中央地区とともに「広域拠点」に位置付け、都市圏の活動を支え、生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の強化・充実を図ります。また、広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進を図ります。  
特に長町地区では、あすと長町地区、旧国道4号沿道地区、太白区役所周辺地区それぞれの地域特性を生かし、各地区の都市機能の連携による一体的な広域拠点の形成を推進します。

### 「長町地区」における今後の都市づくりのポイント

- ・あすと長町地区の環境整備された都市空間の活用
- ・旧市街地の個性的な街並みを生かした賑わいづくり
- ・新旧の市街地が連携した都市づくりの促進
- ・地下鉄とJR等在来線とが結節する交通環境の更なる活用
- ・社の広場やゼビオアリーナ仙台などの交流施設を生かした賑わいや交流の創出

### 都市づくりの目標像（案）

#### 「新旧の市街地の融合により賑わいや魅力を創出する都市圏南部の広域拠点」

個性ある旧市街地と、環境整備が進んだ新市街地とが融合することで、集積する都市機能や交流拠点施設を生かした賑わい・魅力を創出する都市圏南部の拠点を目指します。

### 都市づくりの基本方針（案）

#### 1. 新旧市街地の都市機能の連携による魅力・個性の創出

▶JR長町駅周辺での都市機能の集積や、新旧市街地の個性を生かし、各地区の都市機能が連携することによって魅力的で個性ある都市圏南部の拠点の一体的な形成に取り組みます。

#### 2. 広域拠点の利便性を生かした都市型居住の推進

▶生活拠点としての魅力や個性ある都市機能や、地下鉄とJR等在来線が結節する高い交通利便性を生かした都市型居住の推進に取り組みます。

#### 3. 新旧市街地の連携による賑わい・回遊空間の形成

▶社の広場やゼビオアリーナなどの交流拠点を生かしつつ、個性ある旧市街地とのつながりなど新旧市街地をつなぐ回遊性の向上を図ります。

#### 4. 緑豊かな街並みの形成と活用

▶新旧市街地の良好な街並みの形成と、あすと長町中央公園や街路樹など緑豊かな空間の形成と活用に取り組みます。

#### 5. 都市圏南部の生活を守る安全・安心な都市空間の形成

▶バリアフリー空間整備や帰宅困難者対策、災害時の医療機能確保などハード・ソフトの両面から安全・安心な都市空間の形成に取り組みます。

### 長町地区の対象区域(案)

